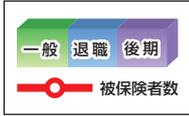
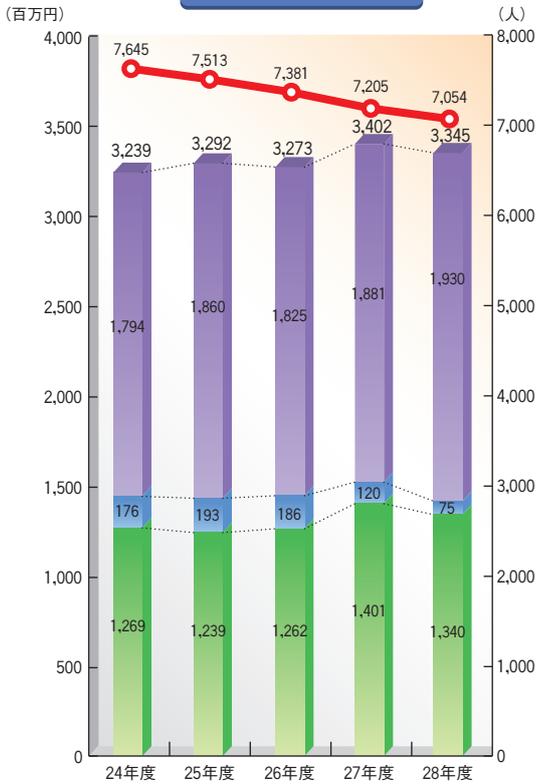


茂木町

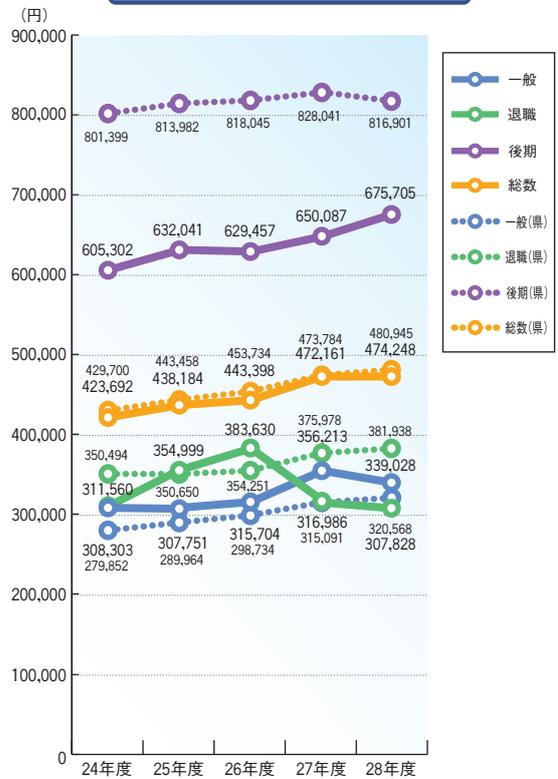
# 茂木町



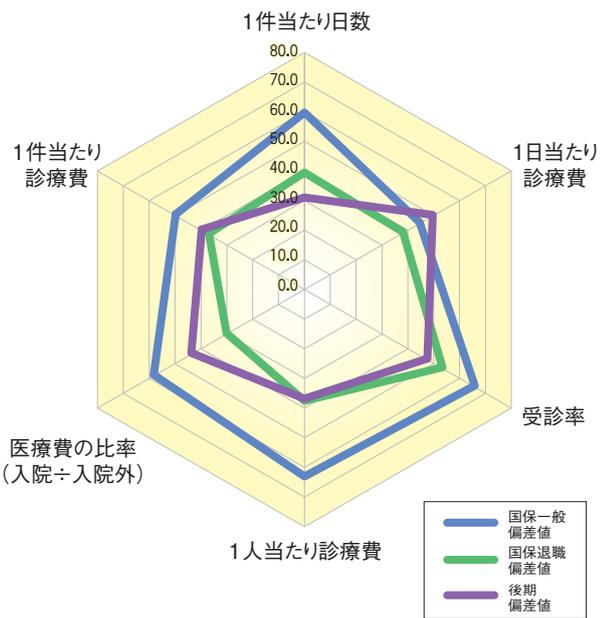
## 医療費の推移



## 1人当たり医療費の推移

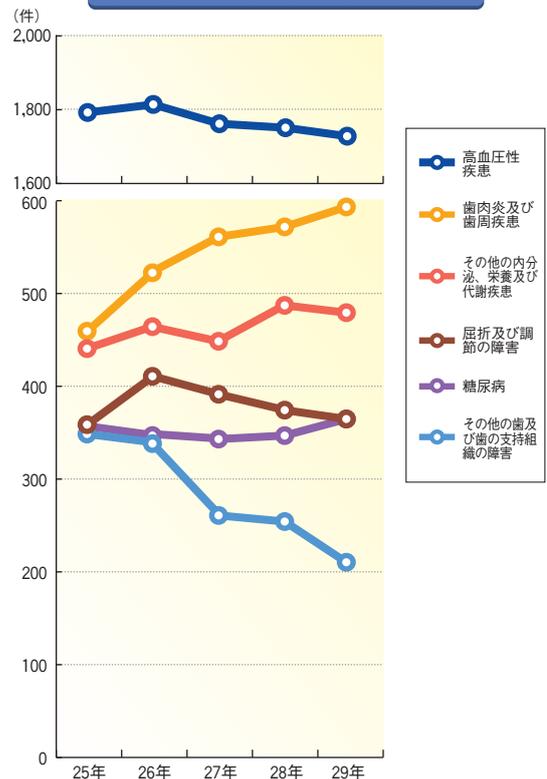


## 平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

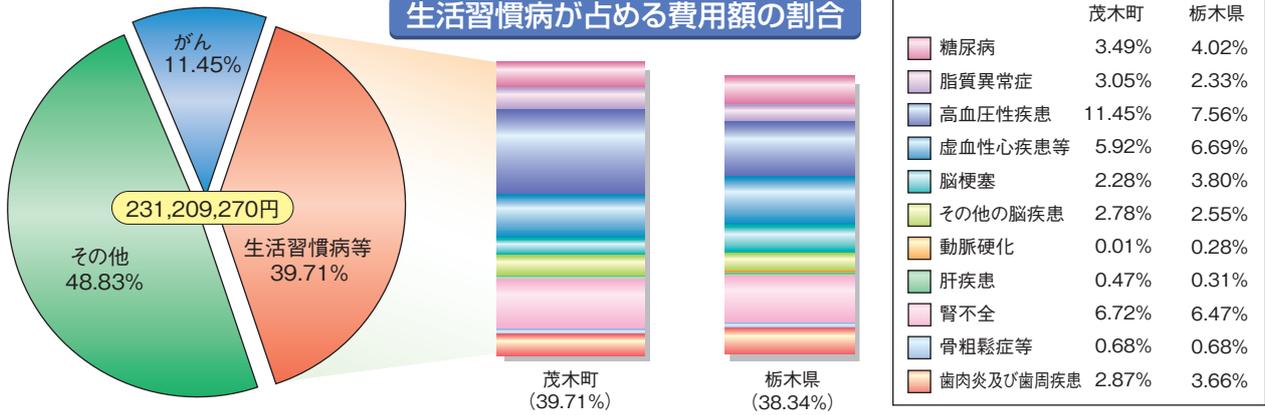
## 多受診疾病上位6位の推移



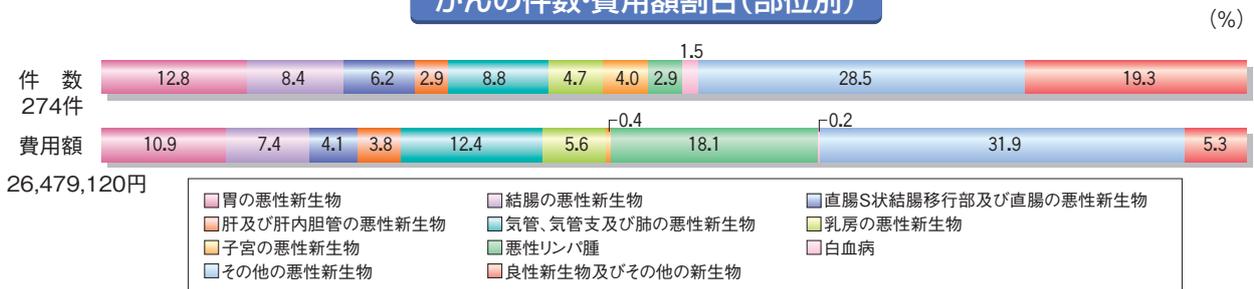
### 生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 茂木町の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,340,177千円(95.6%)、退職75,418千円(62.9%)、後期1,929,589千円(102.6%)で、全体では3,345,184千円(98.3%)と減少している。( )は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は7,054人で、内訳は一般3,953人、退職245人、後期2,856人である。前年度比較すると全体で97.9%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は474,248円(2,087円増)、一般は339,028円(17,185円減)、退職は307,828円(9,158円減)、後期は675,705円(25,618円増)である。( )は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般は、1日当たり診療費の値が県平均より低く、退職は受診率のみが県平均より高い偏差値となっており、後期はいずれの項目も県平均より低い偏差値となっている。

#### ★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位その他の歯及び歯の支持組織の障害で、中でも6位のその他の歯及び歯の支持組織の障害はここ5年減少傾向にあり、平成25年と比べて件数は0.59倍、費用額は0.52倍となっている。

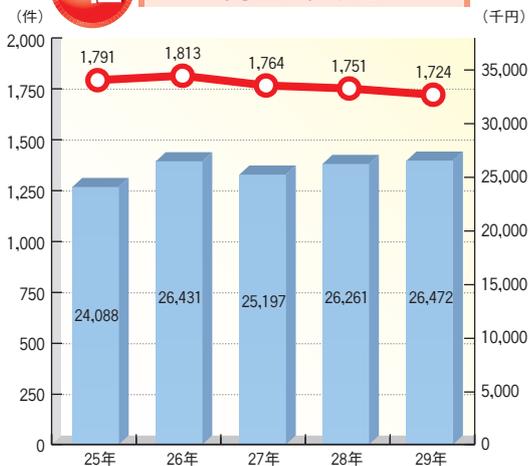
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも脂質異常症、高血圧性疾患の占める割合が高い比率となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が231,209,270円で、がんが11.45%、生活習慣病等が39.71%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患11.45%、腎不全6.72%、虚血性心疾患等5.92%となっている。

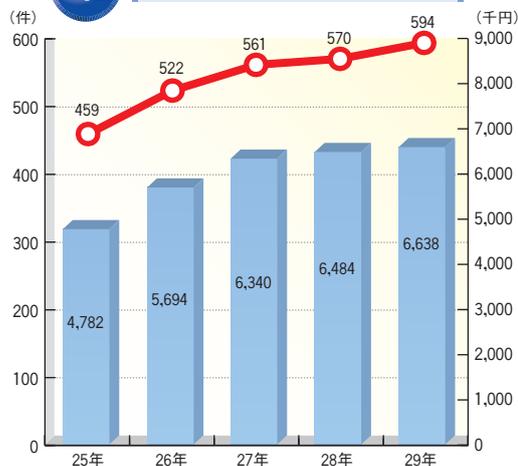
がんの部位別の件数及び費用額の割合をみると、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、費用額では、気管・気管支及び肺の悪性新生物、悪性リンパ腫が高い割合となっている。

# 多受診疾病 上位6の年次推移

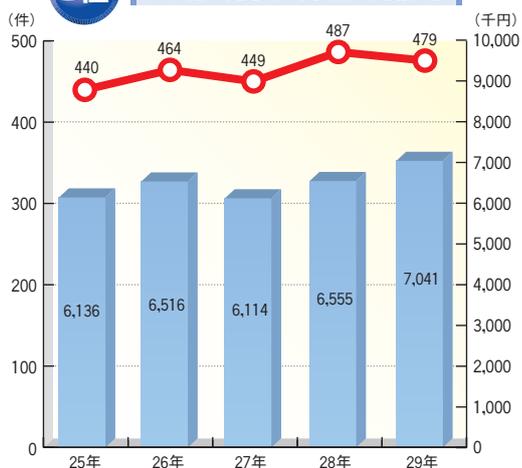
## 1位 高血圧性疾患



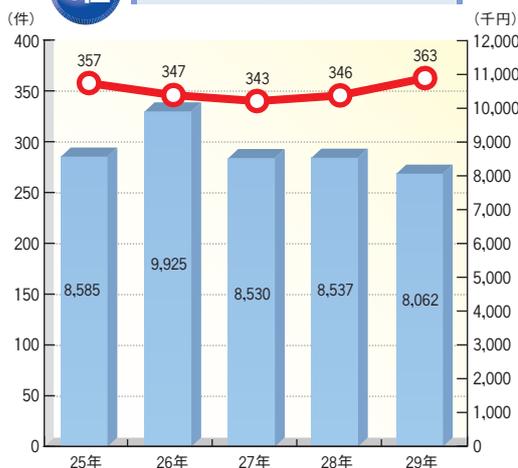
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



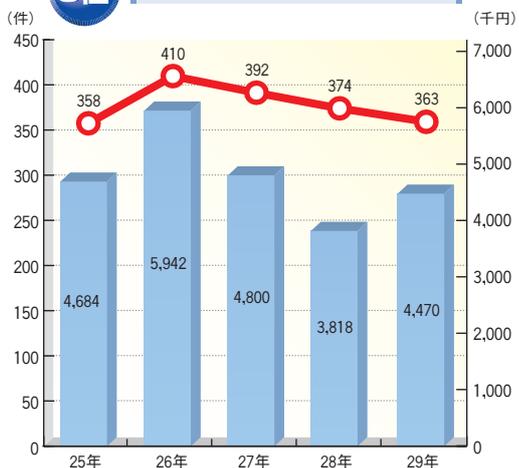
## 3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 4位 糖尿病



## 5位 屈折及び調節の障害



## 6位 その他の歯及び歯の支持組織の障害

